



5月の園だより

令和6年度 川崎保育園
文責：水落

主 題：きまりを守り、集団生活を楽しもう（持戒和合）
生活目標：はきものは そろえてぬごう みんなの心がそろいます

新緑の美しい季節となりました。初夏の心地よい風が園庭を吹き抜けるようになっていきます。

新年度が始まり、あっという間に1ヶ月が経ちました。少しずつ新しい環境に慣れ、子どもたちの笑顔もより一層増えてきたように感じます。お友達や先生たちと楽しく過ごす園生活ですが、保育園は社会集団でもあります。どんな集団でもその生活の中にはルールがあります。子どもたちは、遊びの中で順番を守ることや、玩具の使い方、貸し借りの仕方などを学んでいきます。譲り合いや相手の気持ちを考えられるような心情を、さまざまな遊びを通じて経験させ、育てていきたいと思っています。

さて、待ちに待ったゴールデンウィーク。新型コロナウイルス（以下コロナ）の「5類」移行後、初めての大型連休となります。各地で多くの人でにぎわうことと思います。「コロナ禍」以前に増して多くの人出が予想される観光地もあるようです。お出かけを予定されているご家庭もあるでしょう。近場やお家でのんびりというご家庭もあるかもしれません。いずれにしても是非ご安全に楽しく過ごしていただきたいと思います。

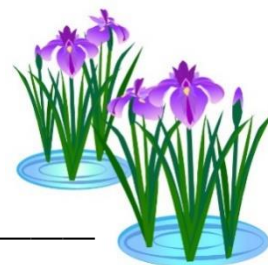
ただ、「5月病」ということばもありますように、連休の疲れとともに4月からの疲れも出やすい時期です。お天気のいい日は、日中かなり気温も上がります。大人でも体調を崩しやすいこの時期、小さな子どもはなおさらです。園でも、しっかりと子どもの体調管理に留意していきます。ご家庭でもお子さまのようすに気を配っていただけたらと思います。

5月行事予定

- 8日（水） 花まつり（※詳細は別紙をご覧ください。）
- 10日（金） 内科検診
- 14日（火） 避難訓練・尿検査
- 17日（金） 歓迎遠足（※詳細は別紙をご覧ください。）
- 21日（火） 誕生会



本園の保育のねらい



——「動きとことばとリズム」を基調とした活動——

☆ 水が砂に吸い込むように

「三つ子の魂百まで」と言われるように、乳幼児期は人間性の基礎をつくる大事な一歩。周りの環境をどんどん吸収して育つ時期です。将来の人間性形成の土台が築かれます。根がしっかりしていれば、台風にも負けないたくましい木が育ちます。人間も同じ。わたしたち川崎保育園が目指す保育は、人間の根をりっぱに培うことです。



☆ 乳幼児はだれもが生まれながら天才です

いつもたくましい好奇心と運動意欲にあふれているこの成長期。豊かな環境とのぞましい経験を与えることがその子の一生を左右します。たいせつなのは、あたまとからだを100パーセント使うこと。すなおな人間らしい感動のこころを育むこと。子どもたちの欲求を満たしながらその育成に最適のプログラムを用意することがわたしたちの保育実践です。



☆ 光る個性も創造性も

ほうっておいて育つものではありません。「知・情・体」の三位一体の総合的な経験を、くり返し、段階を踏みながら、毎日活動することで、本来の子どもらしさが育ち、ゆたかな感性や情操が芽生えます。人間の根っこを育てる幼児教育。子どもも大人もイキイキ熱中の総合幼児教育がわたしたちのモットーです。

5月生まれのおともだち



おめでとうございます！

